



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月1日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7989 URL <https://www.blind.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池崎 久也
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小野 寿也 TEL 03(5484)6142
半期報告書提出予定日 2024年8月1日 配当支払開始予定日 2024年9月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	20,169	△1.2	2,175	2.1	2,284	△0.9	1,539	3.9
2023年12月期中間期	20,414	0.2	2,129	△9.8	2,306	△6.5	1,482	△4.5

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 2,115百万円(13.7%) 2023年12月期中間期 1,860百万円(12.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	83.28	—
2023年12月期中間期	77.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	62,744	51,928	75.6
2023年12月期	63,142	50,442	72.9

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 47,442百万円 2023年12月期 46,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	12.00	—	24.00	36.00
2024年12月期	—	14.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	27.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,800	3.6	4,180	3.3	4,360	0.8	2,760	1.9	149.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	20,763,600株	2023年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	2,300,869株	2023年12月期	2,188,321株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	18,489,325株	2023年12月期中間期	19,032,152株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、景気は緩やかな回復基調となった一方、不安定な国際情勢や、日米の金利差等を主因とした円安の長期化等に伴う原材料価格、エネルギー価格の高止まり、物流や建設業界の2024年問題等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設・住宅業界は、住宅の新設着工戸数が戸建を中心に伸び悩んでおり、長期的に見ても世帯数の減少や住宅の長寿命化等により年々減少傾向にある等、厳しい環境となっております。

このような環境の下、当社グループは、2023年12月期から2025年12月期までの中期経営計画「タチカワビジョン2025～継続と進化～」の実現に向けて、今後も安定した収益を確保できる事業体制の構築や、建築物内外の生活環境の改善による社会貢献を継続しながら、「ものづくりとマーケティング」「経営基盤の強化」「サステナビリティへの取り組み」に注力し、時代のニーズに応じて進化させてまいります。

当期の室内外装品関連事業においては、生活様式や働き方が大きく変化する中、多様化するニーズに応じた、より安心・安全で快適な住空間づくりを目指し、顧客満足度の高い製品の開発等に注力したほか、高付加価値製品の訴求による新規マーケットの開拓にも注力してまいりました。技術面においては、新技術や新素材、新製法を活用した研究開発拠点として、2024年9月の竣工を目指し、技術研究棟の建設を進めております。

駐車場装置関連事業においては、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案の推進による受注の獲得と、高騰する原価管理を徹底することで、収益の獲得に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、原価高騰の影響下においても、生産体制の改善等により収益獲得に努めてまいりました。

なお、1月1日付で事業譲受したサーボモータ事業については、1月から生産体制を整備し、新規顧客開拓とあわせて販売活動を開始致しました。

サステナビリティへの取り組みについては、サステナビリティ基本方針を踏まえ特定したマテリアリティに対し、CO2排出量削減等の課題解決に向け、アクションプランを実行に移し、目標達成に向けた取り組みを推進しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は20,169百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は2,175百万円(前年同期比2.1%増)、経常利益は2,284百万円(前年同期比0.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,539百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

「安心・安全・快適・環境・健康」をキーワードに、多様化するニーズを的確に捉えた製品開発に努めると共に、新たな需要喚起による市場開拓、新製品の早期市場浸透を進めてまいりました。

カーボンニュートラルへの意識の高まりを背景に、環境に配慮した木製素材への注目が集まっていることを受け、木製ブラインド「フォレティア」シリーズにおいて、国産木材を使用したスラット(羽根)、自然由来の塗料を使用した桐製スラット、環境配慮型スラット等を追加しリニューアルした他、併せて自分らしいスタイルのある空間を表現できるデザインブラインド「アフタービート」シリーズもリニューアルしました。更に、フォレティアとアフタービートにおいては、リモコンやスイッチで簡単に操作できる電動製品「ホームタコス」を新たにラインナップし、充電式のバッテリーを搭載した「バッテリー仕様」も拡充いたしました。

また、調光ができるファブリック製品の需要の高まりに対応するため、タテ型ブラインドのスタイリッシュさと、カーテンのやさしい雰囲気と併せ持ち、採光と眺望を自由にコントロールできる調光タテ型ブラインド「エアレ」を発売し、当社の強みである製品バリエーションを更に拡大させ、プロダクトミックス提案の強化を図っております。

その他、「タチカワブラインド新製品発表会」を開催し、“広がる、彩り豊かな暮らし方”をテーマに、今年発売の新製品をはじめ、新たな価値観や多様化するニーズに対応する製品を訴求してまいりました。

以上の結果、売上高は17,318百万円(前年同期比1.5%増)となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等の収益改善に努めたことにより、2,004百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

[駐車場装置関連事業]

既存納入物件に対する付加価値提案による改修や保守の受注獲得に努めましたが、主力の「パズルタワー」の新築工事が減少したことにより、売上高は1,327百万円(前年同期比8.4%減)となりました。営業利益につきましては、原価低減活動に努めたことにより、136百万円(前年同期比135.7%増)となりました。

[減速機関連事業]

工作機械需要に弱さがみられる中、一部の客先における在庫調整影響もあり、各種減速機の受注が低調に推移したことにより、売上高は1,523百万円(前年同期比20.1%減)となりました。営業損益につきましては、経費節減等に取り組みましたが、原材料価格の高止まりや売上高の減少により、34百万円(前年同期比80.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は62,744百万円で、前連結会計年度末と比較し397百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産は38,456百万円で、前連結会計年度末と比較し654百万円の減少となりました。これは主に、電子記録債権、棚卸資産が増加した一方で、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。

固定資産は24,288百万円で、前連結会計年度末と比較し256百万円の増加となりました。これは主に、株価上昇に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

負債は10,816百万円で、前連結会計年度末と比較し1,882百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、電子記録債務、未払金が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は51,928百万円で、前連結会計年度末と比較し1,485百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は75.6%と、前連結会計年度末と比較し、2.7ポイントの増加となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、1,003百万円減少し、14,398百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、467百万円の増加(前年同期は1,355百万円の増加)となりました。

これは税金等調整前中間純利益2,381百万円に対し、減価償却費578百万円、売上債権の減少額1,073百万円等による増加があった一方で、棚卸資産の増加額821百万円、仕入債務の減少額1,108百万円、法人税等の支払額844百万円等による減少があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、1,013百万円の減少(前年同期は1,295百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出668百万円によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、485百万円の減少(前年同期は997百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払465百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2024年2月6日に公表しました予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,462,818	14,958,939
受取手形、売掛金及び契約資産	9,136,733	7,801,754
電子記録債権	6,976,485	7,253,449
商品及び製品	791,935	788,467
仕掛品	1,621,465	1,831,134
未成工事支出金	18,359	52,549
原材料及び貯蔵品	4,645,549	5,326,248
その他	536,868	524,527
貸倒引当金	△79,641	△80,733
流動資産合計	39,110,573	38,456,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,524,063	16,543,573
減価償却累計額	△10,362,137	△10,532,265
建物及び構築物(純額)	6,161,926	6,011,307
土地	8,606,178	8,603,334
その他	17,996,579	18,248,884
減価償却累計額	△14,984,262	△15,095,666
その他(純額)	3,012,317	3,153,217
有形固定資産合計	17,780,421	17,767,860
無形固定資産		
投資その他の資産	305,266	392,440
投資有価証券	3,340,814	3,790,003
退職給付に係る資産	558,702	566,940
その他	2,150,169	1,876,174
貸倒引当金	△103,707	△104,934
投資その他の資産合計	5,945,979	6,128,184
固定資産合計	24,031,667	24,288,484
資産合計	63,142,241	62,744,821

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,470,740	1,900,766
電子記録債務	3,384,781	2,920,424
未払金	1,319,294	925,580
未払法人税等	941,379	795,688
賞与引当金	227,128	261,917
役員賞与引当金	63,282	32,710
製品保証引当金	19,425	13,459
工事損失引当金	22,597	-
その他	1,514,513	1,123,947
流動負債合計	9,963,143	7,974,494
固定負債		
役員退職慰労引当金	427,897	444,069
退職給付に係る負債	2,217,264	2,263,687
その他	91,165	134,474
固定負債合計	2,736,326	2,842,231
負債合計	12,699,469	10,816,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,580,829	4,580,829
利益剰余金	38,019,861	39,113,906
自己株式	△1,805,212	△1,969,436
株主資本合計	45,270,478	46,200,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677,627	1,126,786
繰延ヘッジ損益	△1,576	-
為替換算調整勘定	84,737	118,466
退職給付に係る調整累計額	△11,523	△3,390
その他の包括利益累計額合計	749,265	1,241,863
非支配株主持分	4,423,027	4,485,933
純資産合計	50,442,771	51,928,096
負債純資産合計	63,142,241	62,744,821

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	20,414,912	20,169,383
売上原価	11,953,484	11,724,232
売上総利益	8,461,427	8,445,151
販売費及び一般管理費	6,331,475	6,269,440
営業利益	2,129,952	2,175,711
営業外収益		
受取利息	1,638	1,615
受取配当金	46,676	55,932
不動産賃貸料	18,421	18,751
受取保険金	74,995	1,331
為替差益	12,961	14,270
その他	28,456	24,213
営業外収益合計	183,149	116,114
営業外費用		
支払利息	2	2
不動産賃貸原価	3,650	4,327
自己株式取得費用	1,680	818
その他	1,591	1,910
営業外費用合計	6,925	7,059
経常利益	2,306,175	2,284,766
特別利益		
固定資産売却益	-	2,938
投資有価証券売却益	6,250	94,127
受取補償金	33,500	-
特別利益合計	39,750	97,065
特別損失		
固定資産除売却損	691	0
特別損失合計	691	0
税金等調整前中間純利益	2,345,234	2,381,832
法人税、住民税及び事業税	727,193	696,617
法人税等調整額	61,325	100,866
法人税等合計	788,519	797,483
中間純利益	1,556,714	1,584,348
非支配株主に帰属する中間純利益	74,493	44,496
親会社株主に帰属する中間純利益	1,482,220	1,539,852

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	1,556,714	1,584,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	268,878	487,248
繰延ヘッジ損益	13,703	1,576
為替換算調整勘定	13,220	33,729
退職給付に係る調整額	8,165	8,124
その他の包括利益合計	303,968	530,678
中間包括利益	1,860,683	2,115,027
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,780,003	2,032,449
非支配株主に係る中間包括利益	80,679	82,577

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,345,234	2,381,832
減価償却費	592,750	578,577
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,750	34,788
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,540	△30,572
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△5,582	△9,842
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49,061	59,819
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△470	16,172
製品保証引当金の増減額(△は減少)	5,421	△5,966
工事損失引当金の増減額(△は減少)	26,112	△22,597
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25,170	△5,605
固定資産除売却損益(△は益)	691	△2,938
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,250	△94,127
受取利息及び受取配当金	△48,315	△57,548
支払利息	2	2
為替差損益(△は益)	△11,210	△12,660
売上債権の増減額(△は増加)	827,213	1,073,271
棚卸資産の増減額(△は増加)	△487,208	△821,385
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,216,602	△1,108,203
未払金の増減額(△は減少)	△402,795	△255,057
その他	179,890	△464,229
小計	1,806,983	1,253,730
利息及び配当金の受取額	48,336	57,551
利息の支払額	△8	△2
法人税等の支払額	△499,442	△844,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,355,869	467,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,317,169	△668,571
有形固定資産の売却による収入	-	11,098
無形固定資産の取得による支出	△5,238	△31,049
投資有価証券の取得による支出	△523	△297
投資有価証券の売却による収入	11,273	346,192
事業譲渡による支出	-	△196,906
投資その他の資産の増減額(△は増加)	16,605	25,853
定期預金の純増減額(△は増加)	-	△500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,295,052	△1,013,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△37,468	△20,945
配当金の支払額	△402,351	△445,426
非支配株主への配当金の支払額	△22,614	△19,658
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	46,823	164,760
自己株式の取得による支出	△281,919	△163,724
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△299,804	-
その他	△226	△499
財務活動によるキャッシュ・フロー	△997,560	△485,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,393	28,190
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△919,349	△1,003,878
現金及び現金同等物の期首残高	15,978,071	15,402,252
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,058,721	14,398,373

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,057,996	1,449,587	1,907,328	20,414,912	—	20,414,912
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	46,907	46,907	△46,907	—
計	17,057,996	1,449,587	1,954,236	20,461,819	△46,907	20,414,912
セグメント利益	1,900,284	57,891	171,777	2,129,952	—	2,129,952

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,318,310	1,327,922	1,523,150	20,169,383	—	20,169,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	37,003	37,003	△37,003	—
計	17,318,310	1,327,922	1,560,153	20,206,387	△37,003	20,169,383
セグメント利益	2,004,994	136,462	34,254	2,175,711	—	2,175,711

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

当社は、2024年8月1日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社、富士変速機株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換(効力発生日:2024年10月28日)を行うことを決議し、両社の間で、株式交換契約を締結しました。

なお、詳細に関しましては、本日公表の「立川ブラインド工業株式会社による富士変速機株式会社の完全子会社化に関する株式交換契約締結(簡易株式交換)のお知らせ」をご参照ください。